ODELIC

オーデリック株式会社
第79期（2018年3月期）決算説明資料

オーデリック株式会社
http://www.odelic.co.jp
JASDAQ
6889

目 次

ODELIC

1. 市場環境と2018年3月期連結業績

2. 当期における取り組みと実績

3. 2019年3月期業績予想及び中期経営計画

4. 資料

ODELIC

1-1. 市場環境推移

1-2. 連結業績推移

1-3. 事業成績

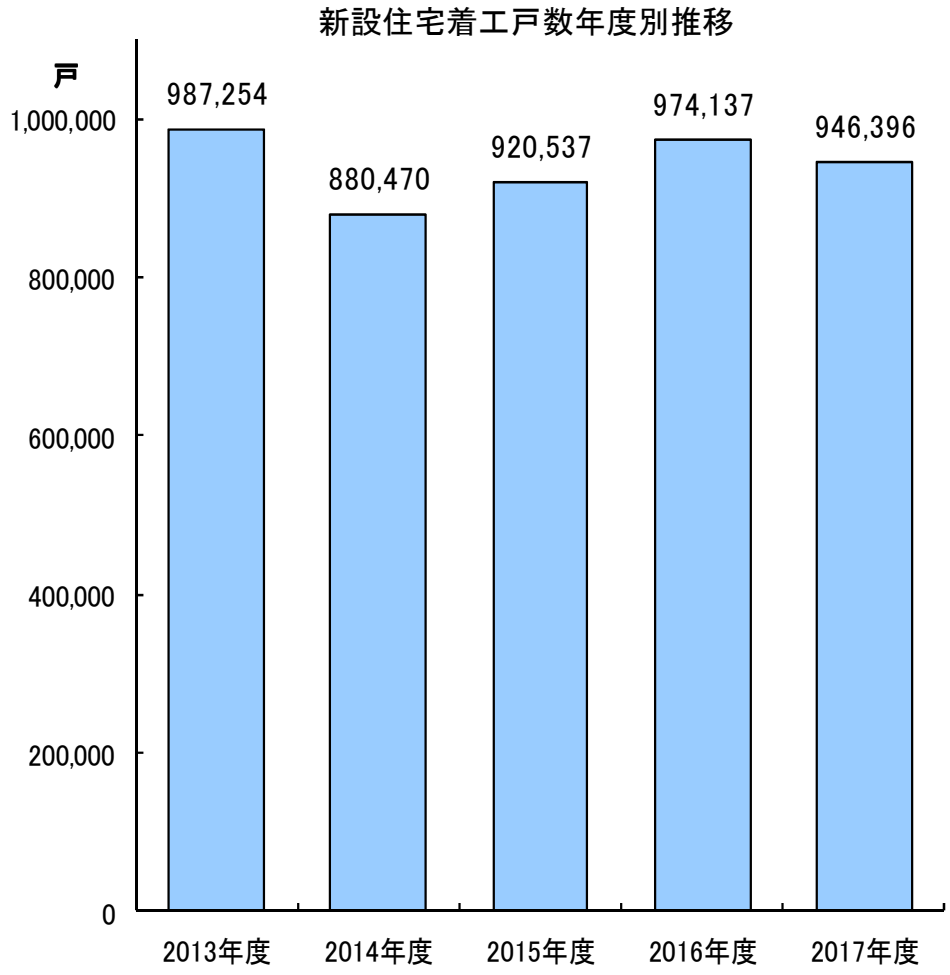
1-4. 営業利益増減分析

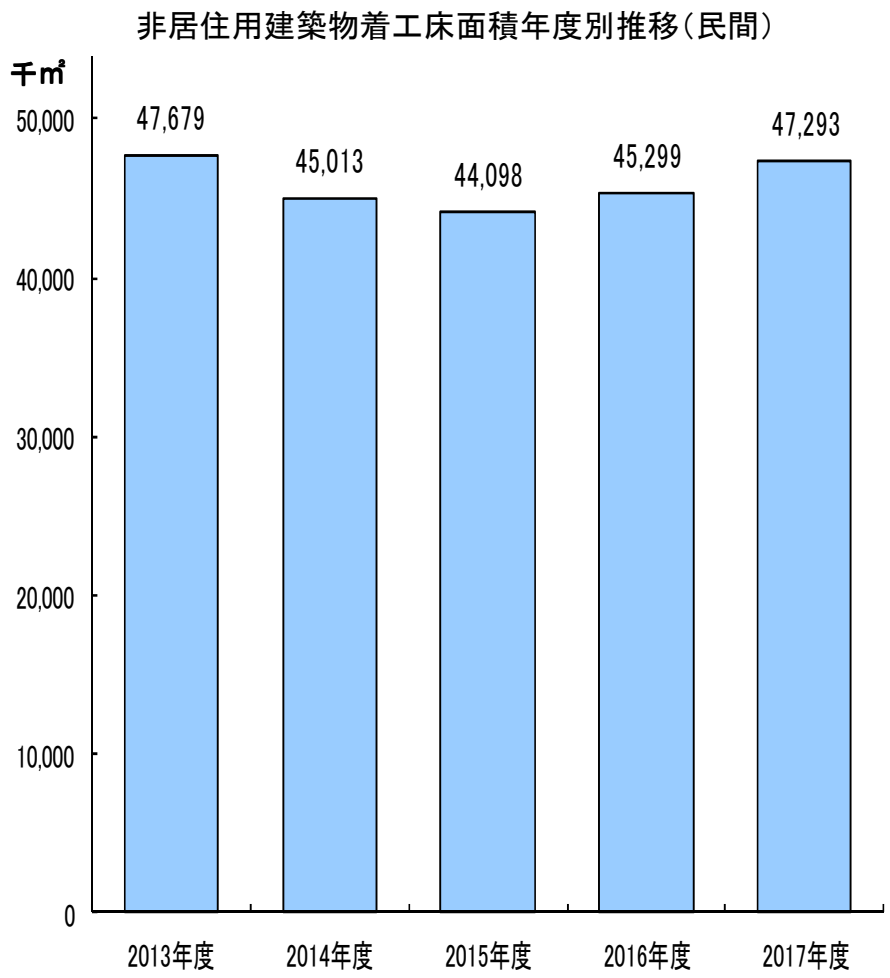
1-5. 資産・負債の増減

1-6. キャッシュ・フロー

1-1. 市場環境推移

ODELIC

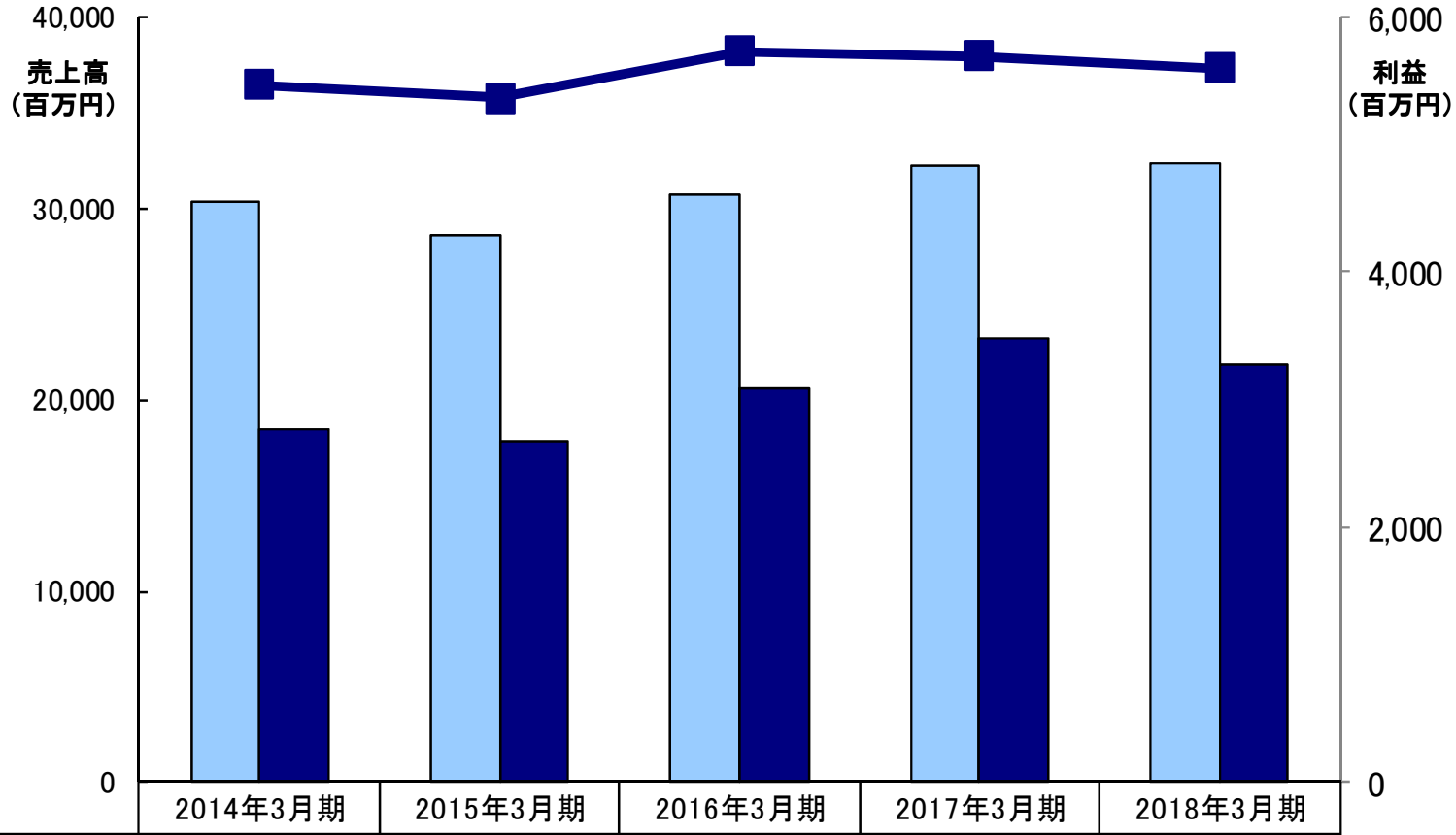




○新設住宅着工戸数は、946,396戸。
・前期比　2.8%減、持家着工戸数は前期比3.3%減
○非居住用建築物着工床面積は、47,293千㎡。
・前期比　4.4%増、倉庫（15.0%増）、工場（11.2%増）の着工が牽引

1-2. 連結業績推移

ODELIC



	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高	36,437	35,768	38,204	37,951	37,358
営業利益	4,558	4,288	4,618	4,837	4,861
親会社株主に帰属する当期純利益	2,770	2,683	3,081	3,485	3,279

○売上高：37,358百万円　前年同期比1.6%減
○営業利益：4,861百万円　前年同期比0.5%増で3期連続過去最高を更新
○親会社株主に帰属する当期純利益：3,279百万円　前年同期比5.9%減

1-3. 事業成績

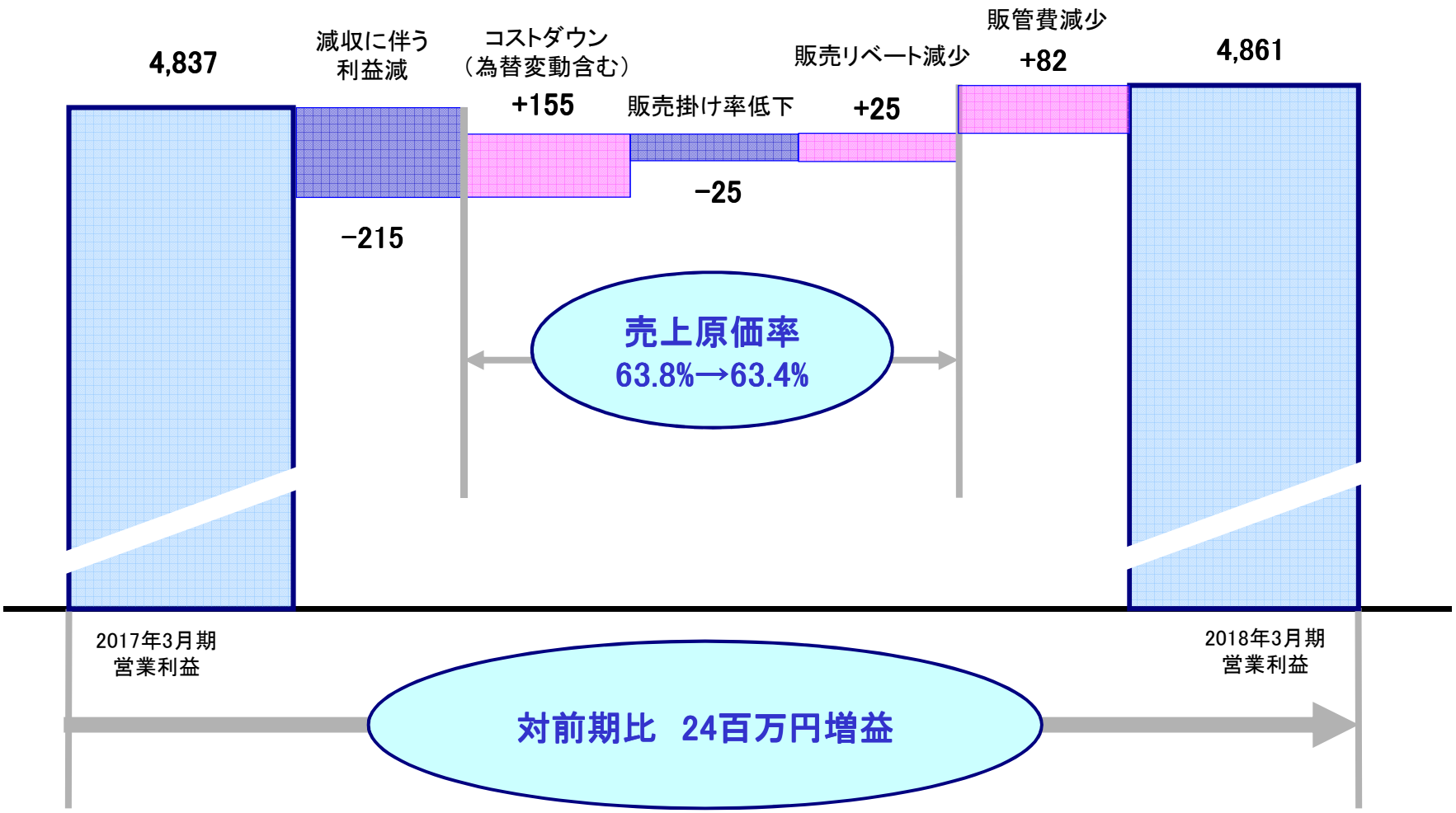
ODELIC

（単位：百万円）	2018年3月期（当期）			2017年3月期（前期）			対前年同期増減		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	17,556	19,802	37,358	17,998	19,953	37,951	△ 442	△ 150	△ 592
売上高前期比	97.5%	99.2%	98.4%	102.7%	96.5%	99.3%			△1.6%
売上原価	11,039	12,639	23,678	11,481	12,732	24,213	△ 441	△ 92	△ 534
売上総利益	6,516	7,163	13,680	6,517	7,220	13,738	△0	△ 57	△ 58
売上総利益率	37.1%	36.2%	36.6%	36.2%	36.2%	36.2%			0.4%
営業利益	2,133	2,728	4,861	2,117	2,719	4,837	16	8	24
経常利益	2,173	2,779	4,952	2,201	2,697	4,899	△ 28	81	52
親会社株主に帰属する当期純利益	1,445	1,834	3,279	1,484	2,000	3,485	△ 39	△ 166	△ 206

1-4. 営業利益増減分析

ODELIC

（単位：百万円）



1-5. 資産・負債の増減

ODELIC

（単位：百万円）	2018年 3月期	2017年 3月期	前期比 増減
流　動　資　産	28,388	26,881	1,507
固　定　資　産	11,004	10,357	647
有形固定資産	6,327	6,391	△ 63
無形固定資産	1,155	1,168	△ 13
投資その他の資産	3,521	2,797	724
資　産　合　計	39,393	37,238	2,154
流　動　負　債	6,859	7,313	△ 453
固　定　負　債	2,206	2,237	△ 31
負　債　合　計	9,065	9,551	△ 485
純資産合計	30,327	27,687	2,639
負債純資産　合計	39,393	37,238	2,154

主な増減
（資産） ・現預金増加：2,087 ・棚卸資産減少：884
（負債） ・仕入債務減少：302
（純資産） ・親会社株主に帰属する当期純利益増加：3,279 ・剰余金の配当による減少：843

1-6. キャッシュ・フロー

ODELIC

（単位：百万円）	2018年 3月期	2017年 3月期	前期比 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,256	4,237	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,318	△ 1,870	552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 850	△ 854	4
現金及び現金同等物の増減額	2,087	1,512	575
現金及び現金同等物の期首残高	10,286	8,774	1,512
現金及び現金同等物の期末残高	12,374	10,286	2,087

当期の主な内訳
（営業活動によるキャッシュ・フロー） ・税金等調整前当期純利益：4,877 ・減価償却費：751 ・棚卸資産減少：884 ・仕入債務減少：302 （投資活動によるキャッシュ・フロー） ・定期預金預入による支出：1,500 ・定期預金の払戻による収入：1,000 ・有形固定資産取得による支出：803 （財務活動によるキャッシュ・フロー） ・配当金支払額：845

ODELIC

2-1. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

2-2. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

2-1. 当期における取り組みと実績(住宅向け)

ODELIC

住宅分野向け販売:期初計画 対前期比+2% → 実績 対前期比-2%

◆CONNECTED LIGHTING拡販

昨年開発の「つながるあかり」照明コントロールシステムCONNECTED LIGHTINGのラインナップを充実、第2四半期より展開を本格化した。シーリングライト、ダウンライトを中心に販売数が増加。

期末3月度の住宅向けCONNECTED LIGHTING搭載商品の売上は、期首4月度と比べ2.6倍と大きく成長した。

◆デザイン照明シリーズ発表

LED光源を搭載した各種デザインシリーズを5月発行のカタログで発表。
AQUA[アクア]シリーズとして、水のゆらめきを表現したWater[ウォーター]、溶けゆく氷をイメージしたIce[アイス]、霧に包まれるおぼろげな光を表現したMist[ミスト]のシリーズなどが、発売当初より好評をいただいた。

◆廉価版シーリングライト、ダウンライト発売

普及価格帯のボリュームゾーンにおいて、シーリングライトを開発、10月より発売した。
ダウンライトについては、フラット形のLED電球を搭載した低価格品を12月に発売。

2-2. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

ODELIC

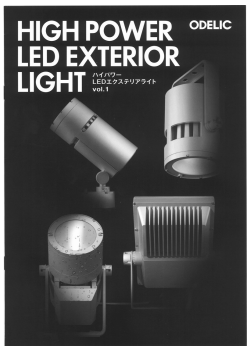
非住宅分野（海外含む）：期初計画対前期比+12%　→　実績対前期比±0%

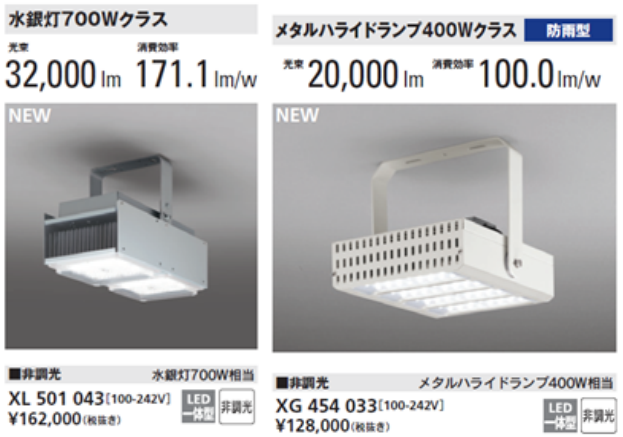
◆ベースライトカタログ発刊

ラインナップをさらに充実させたベースライト総合カタログを10月に発刊、店舗・施設・事務所に向け各種ベースライトシリーズの提案を進めた。
LEDユニット型のベースライトシリーズLED-LINEの売上は2ケタ成長となったが、ベースライト全体としては前年並みの売上に。

◆高天井用器具、投光器等ハイパワー製品の拡売

需要が伸びている体育館や工場向けの高天井用器具のラインナップを6月、7月に追加。
投光器については、9月に「ハイパワー LEDエクステリアライト」パンフレットを発刊した。
高天井用器具は前期比150%、投光器も前期比130%を超える売上となり、同ジャンル製品は順調に売上を伸ばした。





◆間接照明カタログ発刊

多数の新製品を掲載した間接照明のカタログを11月に発刊。
店舗や各種施設などに向けて提案を行った。
住宅向けも含めた間接照明の売上は前期比120%と増加した。

◆大型施設・ホテルの受注に向けた照明提案

受注獲得に向けて提案活動を進めたが、ホテルや大型施設、屋外向けの特注品売上は計画を下回り、前期実績に対しても減少した。

ODELIC

3-1. 2019年3月期業績予想

3-2. 中期経営計画 ー 事業環境認識

3-3. 中期経営計画 ー 数値目標

3-4. 中期経営計画 ー 重点施策

3-1. 2019年3月期業績予想

ODELIC

売上高：前期比3.6%増、利益も最高益の更新を目指し、20円増配を計画

◆2018年3月期実績と2019年3月期業績予想

	2018年3月期 実　績	2019年3月期 予　想
売上高（百万円）	37,358	38,700
営業利益（百万円）	4,861	5,070
経常利益（百万円）	4,952	5,130
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	3,279	3,490
1株当たり 当期純利益（円）	544.37	579.34
年間配当金（円）	150.00	170.00
配当性向	27.6%	29.3%

2019年3月期業績予想の考え方

2017年度において前年度比2.8%減となった新設住宅着工戸数について、2018年度上半期は引き続き前年同月比減少となると予想。
2019年10月からの消費増税を想定し、期末に向けて駆け込み需要が発生することから下半期の着工戸数は増加と予想するものの、住宅着工から照明器具取付までのタイムラグを考え、2018年度において照明器具販売に関する需要増はほぼ期待せず。

顧客開拓に注力している店舗や商業施設等の非住宅分野で前期比6%を超える売上増を計画。

引き続きのコストダウン推進で売上総利益率は前期実績を維持、営業利益5,070百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,490百万円と最高益の更新を目指す。

増益予想をもとに、株主配当金については、中間配当70円（前期60円）、期末配当100円（前期90円）、年間配当金は170円と前期比20円の増配とする計画。

3-2. 中期経営計画 ー 事業環境認識 ー

ODELIC

◆建設市場環境

1.新設住宅着工戸数は漸減

世帯数の減少などにより、新設住宅着工戸数の減少傾向は続く。

2.民間設備投資は増加傾向継続

人手不足に対応するための省力化投資や企業の研究開発投資の増加、東京五輪関連のインフラ建設等の本格化などにより、民間設備投資は前年比増加が継続する。

◆照明器具需要

1.法規制、環境政策によりLED化は引き続き進展

水銀に関する水俣条約による水銀灯からLED照明への動き、改正PCB特別措置法による蛍光灯用安定器などの早期処理、省エネ化に向けた環境政策等により、引き続きLED化の動きは進展する。

2.LED照明器具は普及期から成熟期へ

2011年以降、普及が拡大してきたLED照明器具は、前期において既に出荷の95%を超える構成比となり、成熟期へと移行。省エネ価値に加え、IoT/AIなどの技術革新に対応した新たな価値創出への取り組みが必須。

3.フローからストックへ

フローにおけるLED化が既に95%超となり、今後は政府目標「高効率照明（例：LED照明、有機EL照明）について、2030年までにストックで100%の普及を目指す」にもあるように、既存光源照明器具からLED照明器具への更新需要が安定的に発生する見通し。

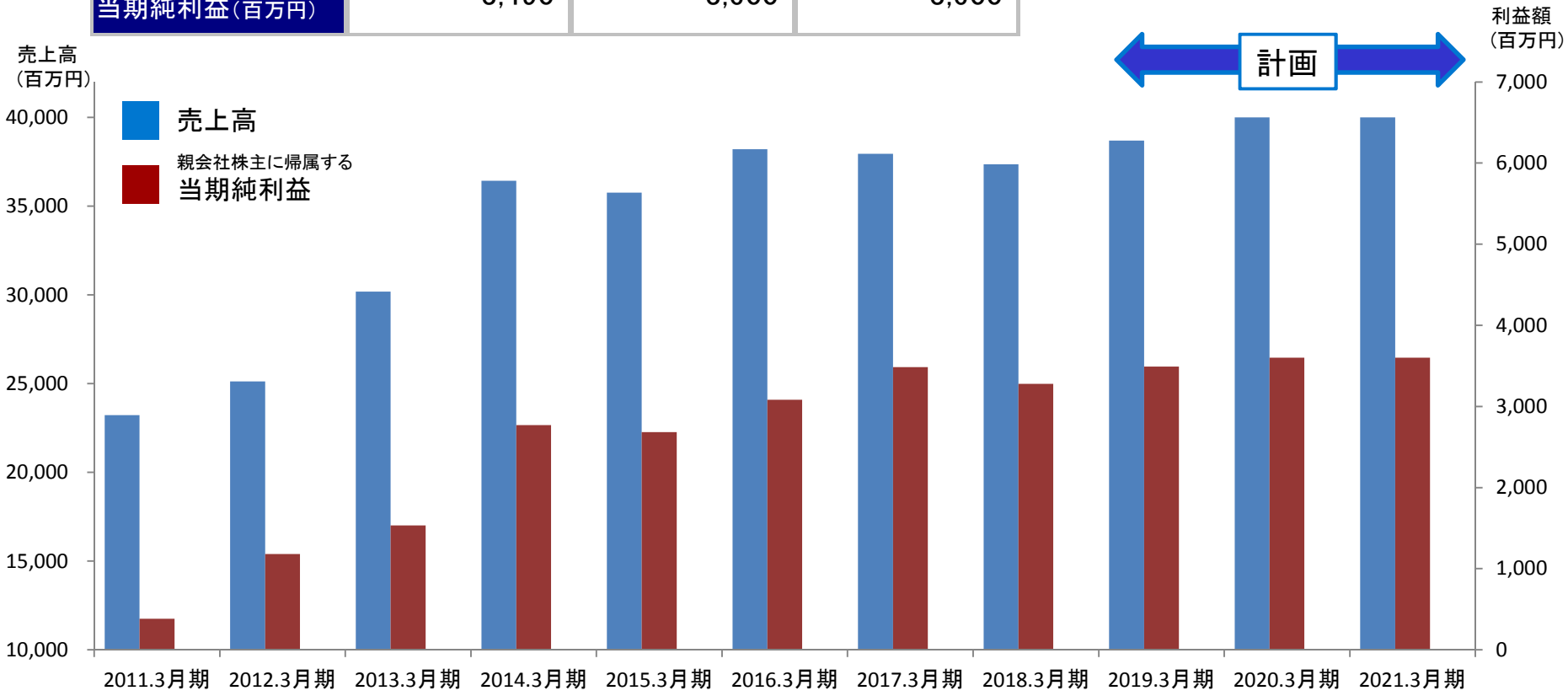
4.海外でのLED化進展

LED照明の世界市場が進展、大きなマーケットに。

3-3. 中期経営計画 ー 数値目標 ー

ODELIC

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高（百万円）	38,700	40,000	40,000
営業利益（百万円）	5,070	5,200	5,200
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	3,490	3,600	3,600



3-4. 中期経営計画 ー 重点施策 ー

ODELIC

1.CONNECTED LIGHTINGの普及促進

無線による照明コントロールシステム「CONNECTED LIGHTING」について、対応製品のラインナップ拡充（住宅、店舗、施設、屋外など全分野にわたって品揃えを強化）とともに、操作性の向上（かんたん操作のコントローラー開発等）や、低価格帯製品の投入により、更なる普及拡大を図る。

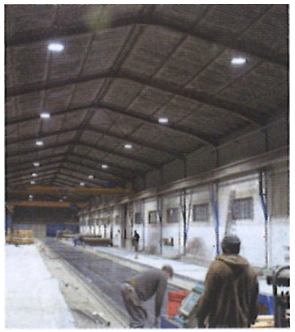
LUXURY

RENOVATION

STEAMPUNK

2.店舗・施設向け提案営業の強化

これまで進めてきた店舗・施設など非住宅分野の顧客開拓を引き続き進め、受注獲得に向けては各地域営業担当と専任部署（光環境プロジェクト、今年度より発足の首都圏商環境開発課等）との連携を強化するなど、顧客ニーズに合った魅力的な照明提案をタイムリーに行い、受注確度の向上を目指す。



3-4. 中期経営計画 ー 重点施策 ー

ODELIC

3.住宅ストックのLED化提案推進

省エネと光の質の向上を実現する製品ラインナップ（使いやすさの追求、豊富で多様なデザイン、演出等の充実など）を取り揃え、リフォーム需要に対し、高確度の受注を目指す。
各地域営業担当は、改めて顧客の掘り起しに注力し、新設住宅着工が減少する中においても住宅向け販売を維持、拡大させる。

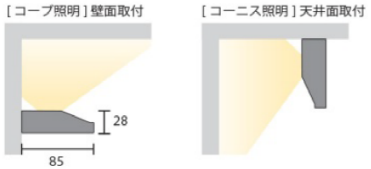
Φ150 人感センサ付ダウンライト

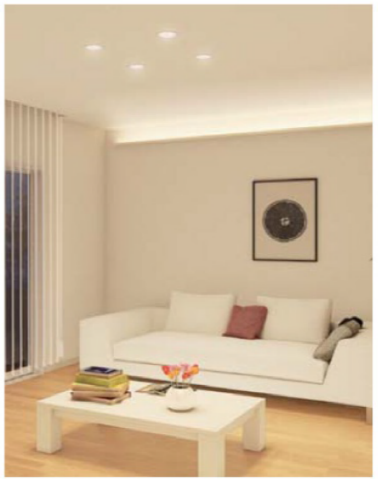
リニューアルに最適なΦ150 穴用の人感センサ付ダウンライト。

かんたん間接

簡単なリフォームや造作工事ができない時に、あとから手軽に建築化照明のような環境を実現。
豊富なサイズのラインナップが揃います。

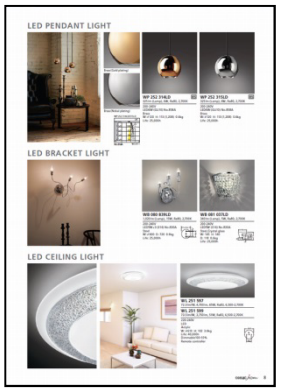
取付位置次第で、
コーブ照明にもコーニス照明にも

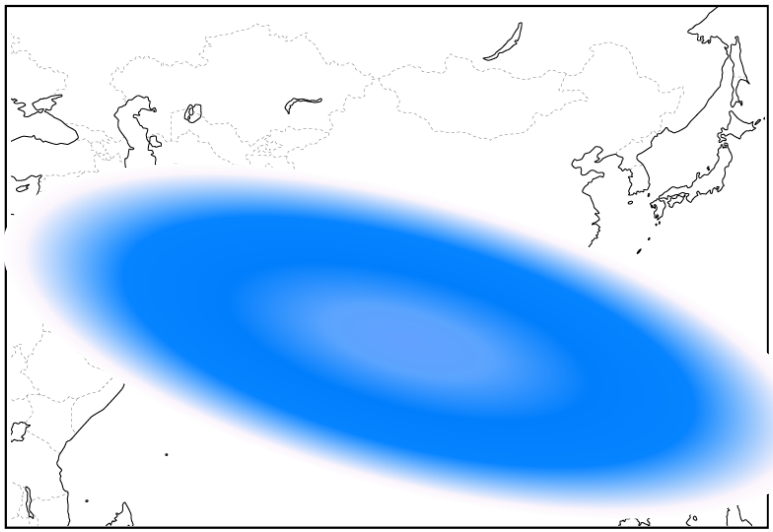




4.ASEAN、中東を中心とした海外市場への展開

拡大を続ける海外のLED照明市場に対し、Made in Japanの高品質照明と、効果的な照明提案で大幅な販売増を果たすべく、各地代理店への営業活動を強化する。





4. 資料

ODELIC

・プロフィール

・株主状況

プロフィール

ODELIC

社名	オーデリック株式会社 （ ODELIC CO., LTD. ）
代表者	代表取締役社長　伊藤雅人
本店	東京都杉並区宮前1-17-5　03-3332-1111（代表）
設立	1951年6月
上場	1996年11月 （東京都証券取引所 JASDAQ市場）
資本金	31億550万円
連結対象子会社	山形オーデリック（株）（生産、物流管理業務）
	（株）日本ライティング （販売）
	オーデリック貿易（株）（輸入、販売）
	アルモテクノス（株）（開発、生産）

株主状況

ODELIC

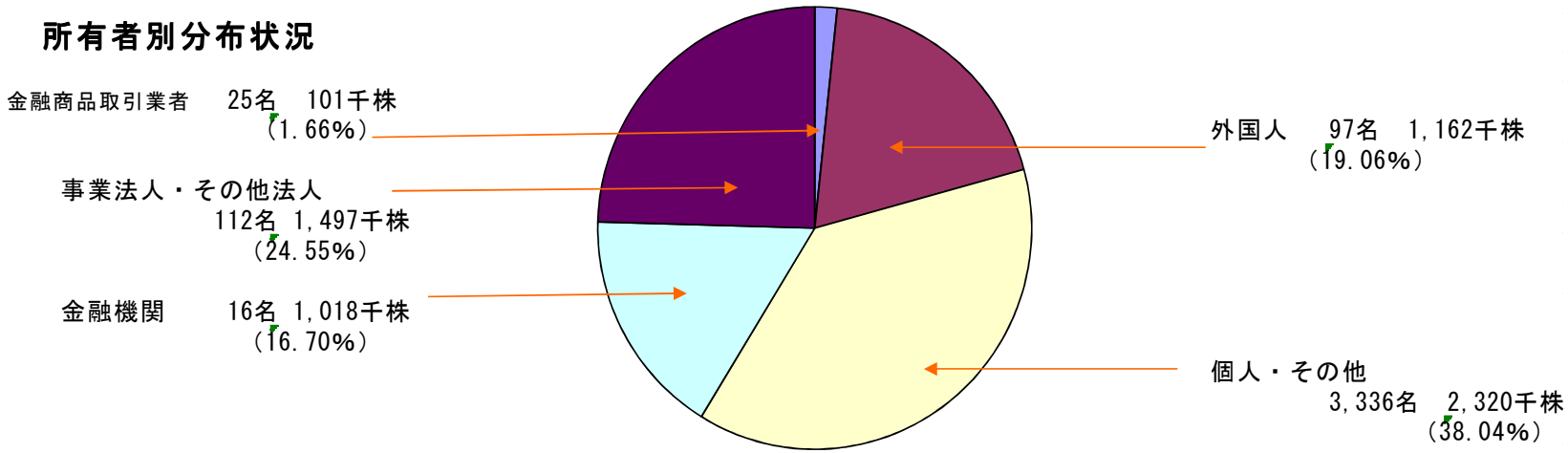
発行可能株式総数	28,941,000 株	（2018年3月31日現在）
発行済株式の総数	6,100,000 株	
株主数	3,586 名	
１単元株式数	100 株	

大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率(%)
㈲アマセクリエート	625	10.25
オーティアイ㈱	430	7.05
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	342	5.61
オーデリック従業員持株会	205	3.37
伊藤恵美子	165	2.72
オーデリック取引先持株会	156	2.57
伊藤雅人	150	2.47
㈱三井住友銀行	150	2.46
㈱みずほ銀行	150	2.46
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	144	2.37

※当期末現在の当社所有の自己株式数は75,972株、構成比率1.25%

所有者別分布状況



当資料の取り扱い上の注意

当資料に記された当社の現在の計画、予想、戦略等は将来の業績に対する見通しであります。 これらは、現在において入手可能な情報を基にオーデリックの経営者が判断し、作成されたものです。新たな情報、将来の事象、その他の判断に基づき、将来の見通しを見直すことがあります。

本資料に関するお問い合わせ先　　オーデリック株式会社
経営企画ゼネラルマネージャー　田中　豊
Tel　03-3332-1107
Fax　03-3332-1105